

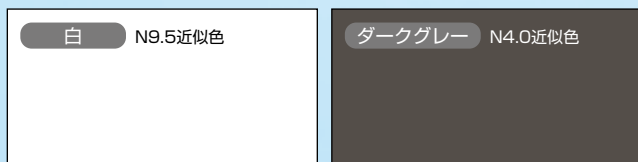


パーフェクトプライマー

職人技

特長

- 1 金属サイディングの下塗り・付帯部の塗装に最適です。
- 2 幅広い素材^{*}との密着にすぐれています。(ステンレス、アルミ、木、硬質塩化ビニル、ガルバリウム鋼板など)
※裏面の「素材適応性」をご確認ください。
- 3 変性エポキシ相当のさび止め効果があります。
- 4 すぐれた可とう性(耐屈曲性)を有しているため、柔軟性のある素材に対して適性があります。(FRP、硬質塩ビ、木)
- 5 白とダークグレーの2色で付帯部に適した下塗り色です。



※このカラーサンプルは印刷インキですので実際の色とは異なります。ご了承ください。

標準塗装仕様 (塗り替え) 仕上げは下記《適用上塗り塗料》からご選択ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布等を用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトプライマー	1	0.14~0.16	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~5	はけ・ローラー
			0.16~0.18			0~5	エアレススプレー

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
 ※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 ※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)
 ※塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。
 ※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、ニッペパーフェクトプライマーで部分補修を行ってから下塗りしてください。

《適用上塗り塗料》	《適用下地》 (塗り替え改修用)
<ul style="list-style-type: none"> ●パーフェクトトップ ●ハナコレクションシリーズ ●ファイン4Fセラミック ●ファインシリコンフレッシュ ●ファインSi ●1液ファインシリコンセラUV ●ファインウレタンU100 ●1液ファインウレタンU100 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●付帯金属面 ●ステンレス ●屋根(棟押さえ) ●亜鉛メッキ ●アルミ ●FRP ●木部 ●金属パネル外壁※

各種旧塗膜の上

※金属パネル外壁に、パーフェクトトップなど水性上塗りを適用する場合はパネル全面にエンボス等凹凸模様のある金属サイディングに限ります。平滑(フラット)な面に塗装した場合は、塗り継むらなどの仕上がりに不良に至る場合がありますのでご注意ください。

ペイントかわら版

読者募集!

登録無料

いままぐご登録を。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form/>



ニッペ パーフェクトプライマー

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m ² /回)	塗装方法
ニッペ パーフェクトプライマー	白 ダークグレー	-	15kgセット(塗料液13.5kg:硬化剤1.5kg)	塗料用シンナーA	0~5%	0.14~0.16	はけ・ウールローラー
			4kgセット(塗料液3.6kg:硬化剤0.4kg)		0~5%	0.16~0.18	エアレススプレー

混合:2液のため「塗料液(主剤):硬化剤=9:1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

荷姿:15kgセット(塗料液(主剤):硬化剤=13.5kg:1.5kg)
4kgセット(塗料液(主剤):硬化剤=3.6kg:0.4kg)

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥	6時間以上10日以内	4時間以上7日以内	3時間以上5日以内

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

素材適応性(適応性は各素材を研磨した場合での評価となります。)

素材	適応性	素材	適応性
亜鉛引鉄板	○	アルミニウム合金板(6063S)	○
溶融亜鉛メッキ板※1	△	アルミニウム合金板(5052P)	○
カラートタン	○	アルマイト処理板	○
ガルバリウム鋼板	○	アルマイトクイヤー板	○
ブリキ板	○	アルマイトシルバー板※2	×
ステンレス鋼板(SUS304)	○	アルマイトブロンズ板※2	×
ステンレス鋼板(SUS316)	○	硬質塩ビ板	○
ステンレス鋼板(SUS430)	○	FRP板	○
純アルミニウム板(1050P)	○		

※1 6ヶ月以上暴露された面に使用してください。それでもキラキラしている箇所はペーパー研磨が必要です。


※2 入念な研磨をしても剥離を引き起こす危険性がありますので、塗装はお控えください。

施工上の注意事項(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
- こみ・ほこり・砂・油・樹脂などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで完全に除去し、影れ・割れの発生にも注意し、十分なクレンを行ってください。
- 鉄、アルミニウム、溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっきなどを塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。下地調整程度が悪い場合は、早期にさびを発生する可能性があります。
- 新木の乾燥程度は含水率18%以下(ケツ科学社製HM500シリーズで測定した場合)としてください。また節止めには必ずラックニスを塗装してください。
- 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗り塗装をしますと、縮み、割れ、乾燥不良を起しますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにしてください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による影れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気を取入などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないよう十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着障害をおそれおそれがあります。
- 内部塗替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤影れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。

- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適応性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、影れなどが発生する場合がありますので、養生シーターの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するが、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ樹脂板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はく離処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ パーフェクトプライマー(白塗料液)		横倒禁止
<ul style="list-style-type: none">本来の用途以外に使用しないでください。使用前に取扱説明書を理解して、取り返してください。熱・火花・炎・高温のもののような発熱源から遠ざけてください。一禁煙です。容器を密閉してください。容器および受器を接地してください。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。火花を発生しない工具を使用してください。粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。取り扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。必要に応じて個人用保護具を使用してください。飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外して、その後洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。皮膚に付いた場合、多量の水をせきこんで洗ってください。取り扱った後、手を洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。	<ul style="list-style-type: none">直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。暴息したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。火災時には、酸欠ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾粉がある。容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。密栓して子供の手の届かないところに保管してください。直射日光や水濡れは厳禁です。塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込みか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。	
危険		危険有害性情報
		引火性液体および蒸気/飲み込むと有害のおそれ/皮膚に接触すると有害のおそれ/皮膚刺激/強い眼刺激/遺伝子疾患のおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に毒性(急性) 長期的影響により水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2013年11月現在、ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-R121

KE131105T
2013年11月現在